



社会環境への疑問と 反骨心で踏み出した一歩

仲間の幸せと諦めのない社会への挑戦

代表理事 CEO

北山 剛

北山 剛 プロフィール

1979年福島県いわき市生まれ。東北大学工学部卒業、同大学院情報科学研究科修了。26歳で株式会社LITALICO(障害福祉事業会社では唯一の東証一部に上場)の創業メンバーとして参画。10年以上にわたり、社会的課題をビジネススキームで解決していくソーシャルビジネスが成り立つことを実績で示す。その後、同社から独立、再びゼロから起業。NPO法人ソーシャルデザインワークスでは「すべての仲間の幸せを追求すると共に、諦めのない社会を創る」というビジョンを掲げ、障害のある方や生きにくさを抱える方々に向けた自立訓練・就労支援サービス事業を軸に多様なごちゃまぜの世界観を地域の方々と共創し、全国展開を目指している。

ある男性との対話と福祉業界への反骨心

障害者＝社会的弱者？という意識を強く感じた体験が前職を創業した2005年の仙台でありました。同じ人間なのに自分の人生を自分で決められずに周りの福祉職員がすべてを決めてしまうことが当たり前前の障害福祉の世界を垣間見て驚愕した記憶があります。私の原体験は当時出会ったある男性との対話。高校3年生の時に交通事故で重度身体障害になり以降20年近く24時間介護施設での生活、働きたい意志があるにも関わらず人生に絶望しきっていた男性。その絶望感本人から生まれたものではなく、周りにいる少ない人間が勝手に諦めることにより生み出されたもの。そして、新参者を拒絶する福祉業界の壁。「障害があっても働きたい意志があるなら、それを何とか実現するのが障害福祉の使命ではないのか？」と私たちの想いを話そうものなら全否定とバッシング。面白いくらい誰も相手にしてくれませんでした。これは、誰に何を言われようが若者なりの想いを貫くしかない。想いを実現するまでやり切るしかない。そんな確固たる反骨心が芽生えたのはこの時でした。

「社会環境」への疑問

障害のある子どもを産んだ母親が「ごめんなさい。こんなお母さんを許してね」とか障害のある子どもを持つ父親が「この子は何もできないんだから家に居た方がいいんだ」とか親御さん全員ではないにしろ似たような言葉を耳にする機会がまだまだあります。私は障害のある子どもを持つ親御さんがこうした意識を持ってしまう「社会環境」の方へ疑問を抱いています。その子は悪くないし、親ももちろん悪くない。障害のある人間の未来に希望を持ってない諦めの気持ちが先行してしまう今の「社会観」が問題だと考えています。

分離教育時代の弊害を乗り越えるために

正直、障害者って怖いよね？という方が一般的には多いかもしれません。障害の有無によって教育制度が分けられていた「分離教育時代」の弊害がそこには表れています。幼少期の価値観形成過程では健常者と障害者が分離されていたのに、いざ「働く」という段階になると、いきなり障害の有無にかかわらず同じ枠組みのなかで共生していかなければならない。それが現在の日本です。分離されていたから知らない、分からないのは当然です。分からないことは怖いし恐れを感じてしまうのも当然。これは、人間の本能として当たり前の感覚だと思います。でも、分からないままで本当に良いのでしょうか？障害福祉のことを障害福祉の方々のみでやっていくだけでは本当の意味でのダイバーシティ、多様性のある社会を創っていくことは難しいのではないかと感じています。だから、私は障害福祉のことを障害福祉のことだと捉えない方々をたくさん巻き込んで社会を変えていきたい。

実現したいのは

「仲間の幸せと諦めのない社会」

仲間同士が感謝しあいお互いの幸せを求め協力しあう風土と、多様な考えや様々な働き方を尊重しあい応援しあう文化を私たちのチームで醸成していきたい。そして、地域全体が自然に障害福祉に関わってしまうような、自然に障害の有無を意識しなくなるような、障害のある当事者やご家族が生きやすくなる、あるいは、引け目を一切感じなくなる社会。そんな社会を「諦めのない社会」としてしっかりとカタチづくり、全国へ発信・伝播していきたい。達成したいことは、たった一人でできるものではありません。いろんな方々に頼って、協力してもらって、少しずつ地道に成し得ていくこと。一朝一夕には実現できないことだからこそ挑戦し甲斐があると思っています。これからも私たちソーシャルデザインワークスを何卒よろしく願い申し上げます。

私たちの理念

すべての仲間の
幸せを追求すると共に
諦めのない社会を創る

“仲間”同士が感謝しあい、お互いの幸せを求め協力しあう風土と
多様な考え、様々な働き方を尊重しあい、応援しあう文化を醸成していく
チームとなって幸せを追求し、社会に対して発信していくことで
多様性を認めあう人たちが、日本に、世界に溢れて行ってほしい

社会にある様々な分野において、常識や慣習、あたりまえにとらわれ
もし、その現状に諦めていることがあるならば、私たちはそこに目を向ける
既成概念を取り払い、別の視点からその社会のあるべき姿を考える
諦めざるを得ない理由、出来ない理由を挙げるのではなく出来る方法を考える
私たちが諦めずに行動をしていくことが多くの人たちの勇気となり
それが多くの人たちの人生の豊かさになるような、諦めのない社会を創る



理事 今泉 俊昭

障がいある無し関係なく人それぞれが抱えている生きづらさ。
「自分はそのままで良い」と思える安心感があり、困ったら人を頼り、自分らしく生きられる社会を少しずつ創っていきたく思います。



監事 鈴木 康弘

どんどん複雑になっていく世の中、こんな時代だからこそ、シンプルに互いに歩み寄って他人事ではなく自分事として、自分が住んでる街にありがとうを増やしていきましょう。



ロゴについて

私たちはビジョン実現のために、SOCIALSQUARE（ソーシャルスクエア）を核として地域を巻き込み、社会に想いを伝播させていきます。

スクエアモチーフは、いわき本部と東京支部、日本全国47都道府県にSOCIALSQUAREが進出し、ビジョンを実現していく志を表しています。

コンセプトを体現する49（7×7）個のスクエアで構成され、核となる想いが少しずつ社会に伝播していく様を3階調のカラーで表現しています。

創っていききたい社会

生まれ育った街の違いが 人生の格差にならない社会
地域全体が自然に障害福祉に関わり 障害の有無を意識しない社会
障害のある当事者やご家族が生きやすく 引け目を一切感じない社会

私たちが目指すこと

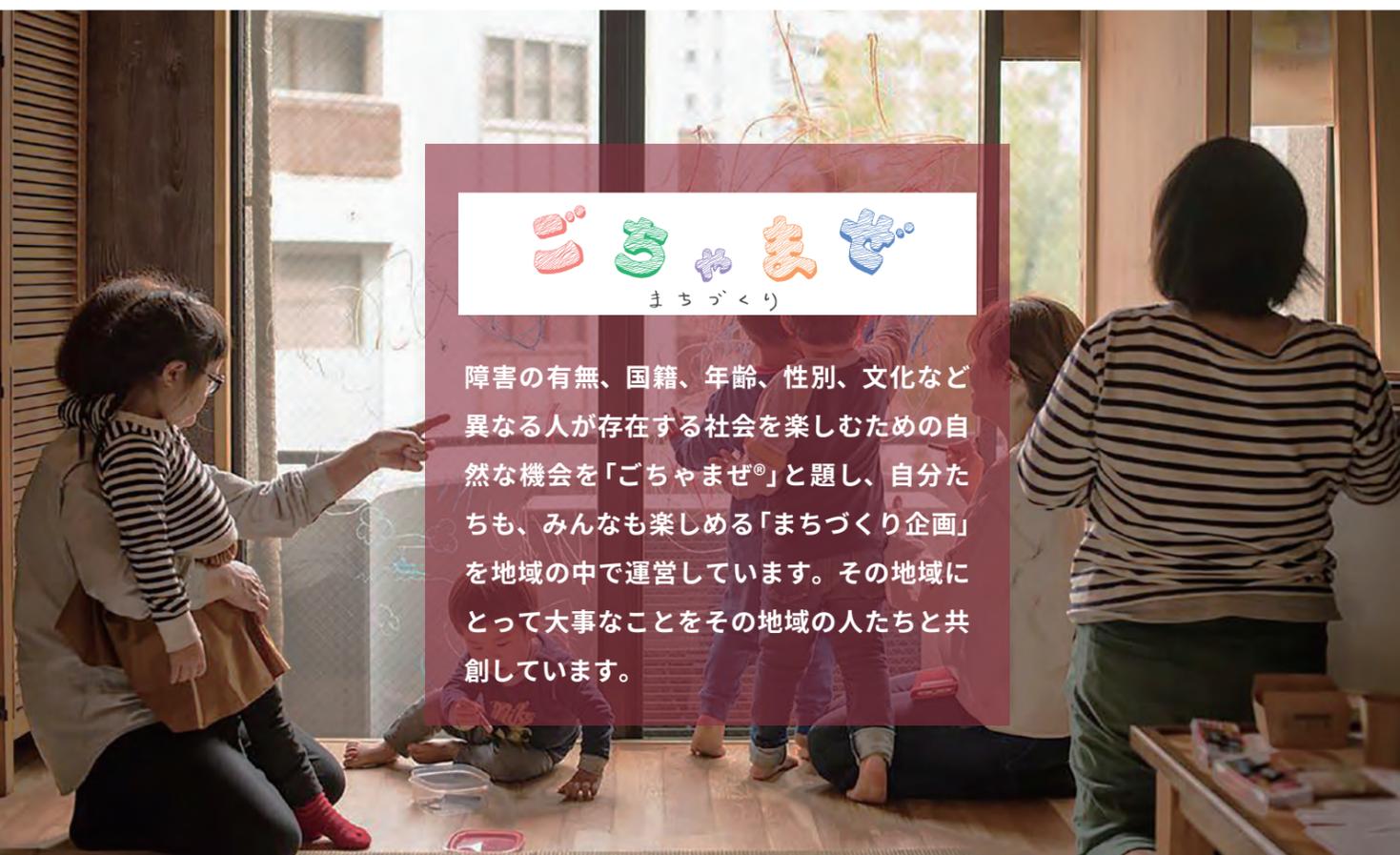
一人でも多くの生きにくさを抱える方々の就職・復職と職場定着
地域社会の障害への理解と多様なごちゃまぜの世界観
幼少期の障害体験教育による価値観形成と20年後の社会観変化

OUR SOCIAL ACTION FOR THE FUTURE

私たちソーシャルデザインワークスは20年後の未来・社会に向けて、人・街・文化に対する様々な社会貢献活動をしているNPO法人です。




障害福祉サービスの自立訓練(生活訓練)、就労移行支援、定着支援などを提供する事業所SOCIALSQUARE®(ソーシャルスクエア)を全国で運営しています。障害のある方、生きにくさを抱える方の「自立した生活がしたい」「働きたい」を応援し、社会との接点になる場です。



まちづくり

障害の有無、国籍、年齢、性別、文化など異なる人が存在する社会を楽しむための自然な機会を「ごちゃまぜ®」と題し、自分たちも、みんなも楽しめる「まちづくり企画」を地域の中で運営しています。その地域にとって大事なことをその地域の人たちと共創しています。

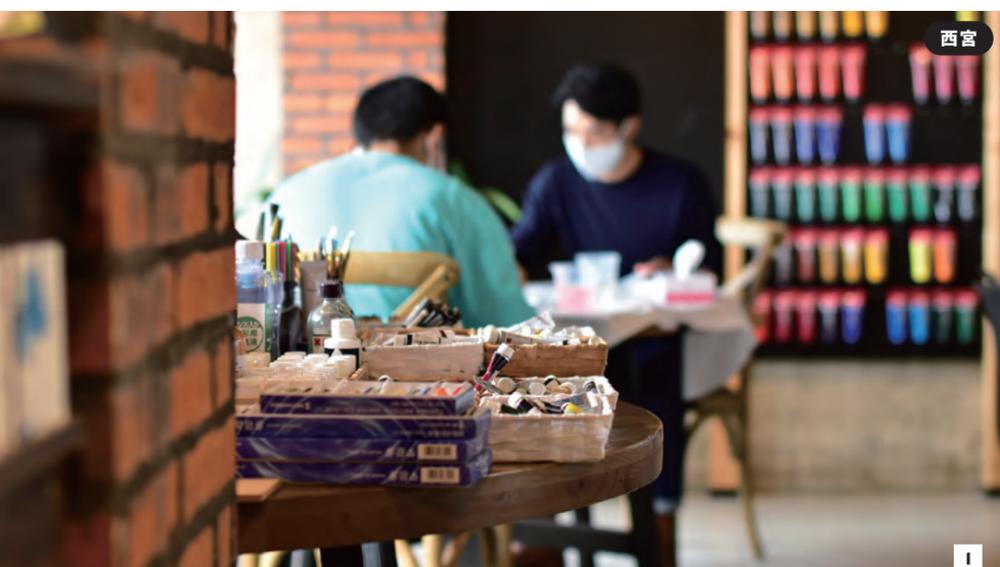



社会に対する想いや活動内容を発信するWebマガジンとフリーペーパー「GOCHAMAZE times」を発行しています。今まで障害福祉に興味関心がなかった人など地域全体が自然に障害福祉に関わり、障害の有無を意識しない文化を醸成できるような広報媒体を製作しています。

SOCIALSQUARE

障害のある方や生きにくさを抱える方の「働きたい」「自立した生活を送りたい」という思いを応援し、社会との接点をつくる場です。日々通所されるメンバーさん一人ひとりが、希望する仕事や生活が送れるよう、クルーと呼ばれる支援員が、ビジネスやセルフコントロールのスキ

ルを高めるためのカリキュラムを提供しています。その他、定期的にまちの清掃活動をしたり、地域のイベントに参加をし、社会との接点を持つための工夫を日々行っています。そのような場が福島県いわき市から兵庫県西宮市、熊本県熊本市と全国へ広がっています。



西宮

1



西宮

2



西宮

3



サービス管理責任者
西宮店 中島 大樹

社会に出ると失敗が許されないことってたくさんあると思います。でも、失敗することで学べることはたくさんあります。SOCIALSQUAREでは安心して失敗できます。そんな環境を私達は明日も作っていきます。

1 近隣のアトリエを訪問。小さな紙のキャンパスに、思い思いの表現をしました。2 新設したキッチンを活用。限られた設備でできる工夫した料理プログラムを行っています。3 東京オリンピック応援用のガーランドや、感染対策用のマスク製作などを行いました。



自立訓練

生活支援員
いわき店 加賀谷 果歩

自立訓練ではメンバーさんの「やってみたいという気持ち」を大切に、カリキュラムを考えています。みんなの好きなことや得意なことを組み合わせて、ひとりではできない経験ができるようにしています。一人ひとりに合わせた目標と一緒に考え、無理なく取り組めるよう、相談しやすい環境づくりを心がけています。

Member's Voice

就職者の声

熊本店メンバー H.Mさん

統合失調症と診断されたため、ハローワークで求人など相談していたらスクエアを紹介され体験後利用する事になりました。カフェみたいで雰囲気がよく、伸び伸びと活動できると感じ、スクエアに決めました。クルーとの面談時に就活に向けて具体的に何を行うのかを話した事が印象に残っています。スクエアでの訓練を経て農業のお仕事につくことができました。

2020年実績

就職者 13名

定着者 11名

※勤続6ヶ月以上

2014-2020 累積

就職者 63名

定着者 48名

就労支援員
熊本店 岡 愛理

カリキュラム一つひとつの必要性や目的についてご理解いただけるよう支援しました。ご本人がご自身と向き合い努力した結果であり、自分の事のように嬉しかったです。

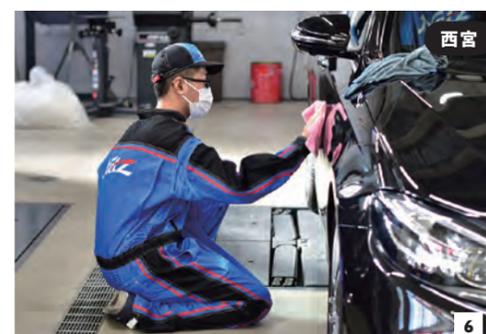


4



熊本

5



西宮

6



いわき

7



いわき

8

4 熊本店の就労移行支援サービスを利用し就職されたH.Mさん(左)・担当クルー岡(右)。5 近隣のスーパーで実習。仕事のイメージを具体的に体感。6 近隣企業と連携した定期的な実習により、学びと実践の繰り返しを実現。7 地域の農業とも連携し、企業見学・実習を実施。8 卒業生とのお話し会。先輩メンバーの働き方を知る機会をご提供。



就労移行支援

就労支援員
スポーツ店 渡邊 瞳子

普段スクエアの中でみるメンバーさんの姿だけでなく、実際に社会に出て「働く場」から見た目線も大事にしながら日々支援をしています。企業実習の際は、企業の方から見たメンバーさんの強みや良い点、課題となってくる点を詳しくヒアリングし、スクエア内での毎日の訓練に生かせるように意識しています。

SOCIALSQUARE IWAKI

いわき店の詳しい情報
お問い合わせはこちら



いわき地域の福祉をリードする フラッグシップ・スクエア!

SOCIALSQUAREいわき店は1号店として2014年10月にオープン。地域の方々と関わりながらいわきエリアの障害福祉やまちづくりを考え、より良く変えていく活動を行っています。「自由な発想で、まず、やってみることを大切に、柔軟な障害福祉を体現していきます。

TOPICS 2020



キャンプ体験

自立訓練では外出することへハードルが高いと感じているメンバーさんにも、毎日楽しんで来所してもらうために趣向を凝らした渾身のカリキュラムを実施しています!



スクエアマネージャー
渡辺 香

MG Voice

オープンで、柔軟で、自由な福祉ができればと思っています。利用者さんやクルー(支援員)の興味・関心ごとを大切にしながら、特別な時間が提供できるように心がけています。



夏祭り

メンバーさんからの希望で実現した夏祭り。やきそばや綿あめの出店をみんなで協力して出店したり、スイカ割りをしたりと季節を楽しめるカリキュラムになりました。

SOCIALSQUARE SPORTS

Sportsの詳しい情報
お問い合わせはこちら



ココロ、カラダ、ツナガリを満たす 就労移行スタート&スペース拡張

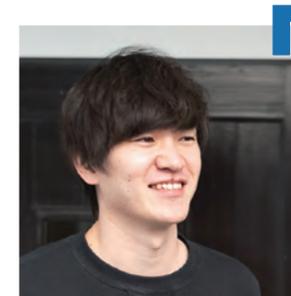
就労移行支援のサービス提供開始に伴い、利用者さんの活動できるスペースも拡張しました。体を動かせるスペースと1人で作業や勉強ができるスペース、座学やグループワークなどを行う3つのスペースがあります。それぞれ取り組む目的や活動ごとに自分で場所を選択できるようになりました。

TOPICS 2020



就労移行支援開始

2020年8月よりスポーツ店でも就労移行支援のサービスを開始しました。スポーツ店の強みを出せる就労移行の形を探っていきます。



スクエアマネージャー
佐々木 俊輔

MG Voice

コロナ禍でどのように利用者さんのニーズに応えられるか常にチームで話し合いを行い、自宅での過ごし方の提案やカリキュラムの改善、個別でのフォローを行いました。

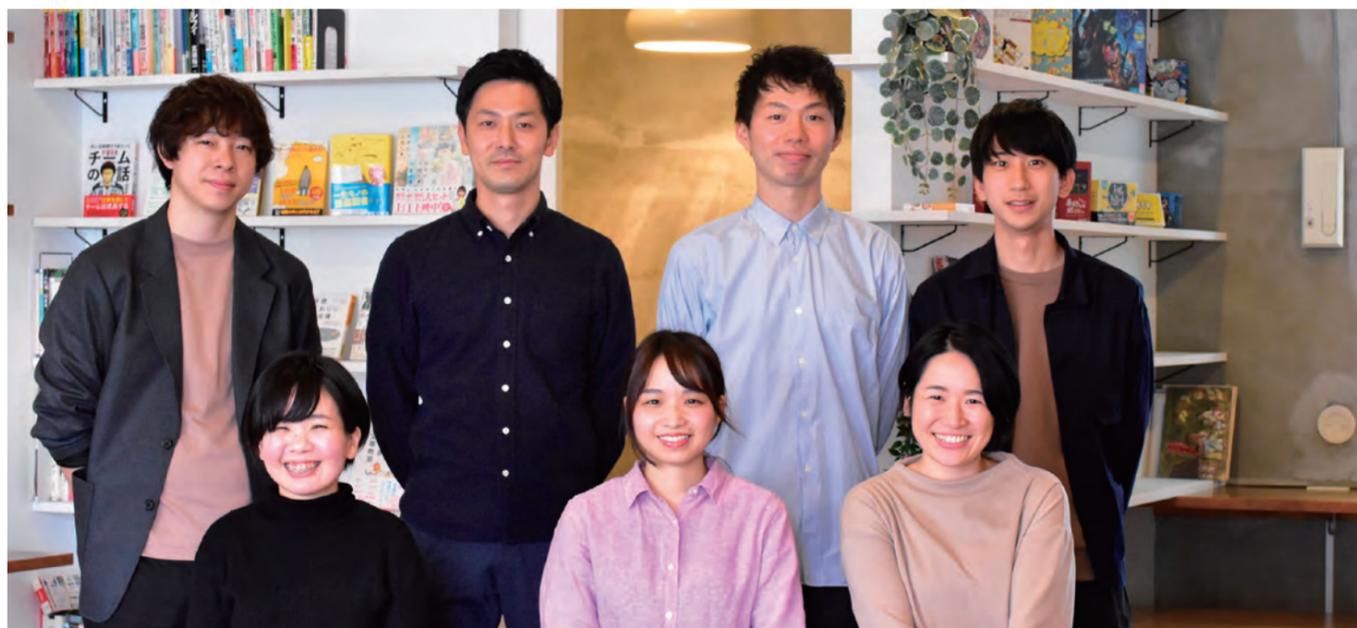


施設外実習

就職する前に自分が働くスキルや体力、コミュニケーション面で問題ないか等を確認するため外部の企業様に協力していただき体験実習を行いました。

SOCIALSQUARE NISHINOMIYA

西宮店の詳しい情報
お問い合わせはこちら



人とまちをつなぐ 「ありのまま」に寄り添う居場所

2017年のオープンから4年。リノベーションやファシリテティの充実を図り、さらに過ごしやすい空間となりました。今年は定期的なイベント運営なども実現し、少しずつ地域に根ざし始めているように感じます。「あなたらしくいてもいいよ」と言えるために、これからもそれぞれの個性を活かした環境づくり・サービス提供を目指します。

TOPICS 2020



1Fリノベーション

これまで物置となっていたロフトを芝生の休憩スペースとして整備。ほかにもキッチンや本棚の設置を行い、心地よさと機能性を両立する空間として生まれ変わりました。

MG Voice



スクエアマネージャー
柳橋 達郎

個性や強みを引き出すカリキュラムが特徴です。お互いに刺激を受け合い、学び、成長できる場所になっています。1F/3Fの2フロア展開ですので、きっと居心地の良いお気に入りの場所が見つかると思いますよ。

就労定着支援開始



就職者の増加に伴いサービス開始。長くはたらし続けるために、就職後のキャリア形成をサポートするために、一人ひとりのニーズに合わせたアプローチを考えます。

SOCIALSQUARE KUMAMOTO

熊本店の詳しい情報
お問い合わせはこちら



一人ひとりの人生をデザイン お陰様で開設2年目!!

様々な関係機関の皆さんの支えのお陰で、2年目を迎える事ができました。本当にいつもご協力頂きありがとうございます。引き続き1人でも多くの方が笑顔になれるように、スタッフ一丸となって頑張っていきます。ご指導宜しくお願い致します。

TOPICS 2020



医療のあれこれ相談

熊本店では、看護師の資格と経験を持ったクルーがいるので、普段なかなか相談できない医療や病院のことについての質問やアドバイスが受けられる機会を設けています。

MG Voice



スクエアマネージャー
緒方 豪太

メンバーさんの笑顔を追求める為にも、クルーの働きやすい環境も皆で考えています!! メンバーさんもクルーも笑顔で過ごせるスクエアを目指して今年も頑張っていきます~。

SQUARE秋祭り



自立のメンバーさんがお客さんとなり、就労のメンバーさんが屋台を担当。準備期間中も就労のメンバーさんは飾りつけの準備をしながら、いい経験になったと思います。

ごちゃまぜ

まちづくり

障害の有無、性別、年齢、国籍、文化、人種や宗教、性的指向などあらゆる違いのある人が存在するのが当たり前の社会です。そんな当たり前のことを再確認し、違いを恐れずお互いを知って認め合おうという「態度」のようなものを、私たちは「ごちゃまぜ」と表しています。

福祉のため、障害者のためといった要素を限りなくゼロにして、あらゆる違いを関係なく、みんなで一緒に楽しむ「ごちゃまぜまちづくり」の企画・運営を地域の方々と共創しながら行っています。



ごちゃカフェ vol.1

スポーツ店初の単独開催のごちゃまぜイベントでした。コロナ渦で色々な制限はありましたが、大人も子供もゲームをして楽しんだり、フード販売や、利用者さんのハンドメイド作品の出品などもありました。



Iwaki

スクエアフェス vol.8 初めてのものづくり!!

スポーツ店を会場に行ったごちゃまぜイベント。テーマは「ものづくり」ということで、お洒落なミニチュアのワークショップや、ハンドメイドの出品などがありました。

はまちる勉強会にて登壇!

いわき地域で障害のある子供へのサポートを行っている「はまどおりサポートちるどれん」とのコラボ企画。「生きづらさってなに? ~ひきこもり支援や働くことへの支援を通して~」をテーマにお話させていただきました。会場とオンライン合わせて50名近く参加していただきました。



「みんなが主役」 芸術文化体験交流事業

いわき市×金澤翔子美術館×NPO法人ソーシャルデザインワークスのコラボレーション企画。「みんなが主役」芸術文化体験交流事業と題して、2018年度からはじまり、年間3回から4回程度イベントを実施しています。誰でも参加できる「ごちゃまぜ」の世界観で、日本の伝統文化をワークショップを通じて伝えています。



スポーツ店
根本 加奈子

私には小さい子供が2人いますが、人と違うことへの偏見や不安を抱く背景には幼少期の経験が関係してくると思います。今よりも柔軟で誰もが生きやすい社会を創っていききたいという思いでごちゃまぜ活動を行っています。

Nishinomiya

ふらっとスクエア



- 地域の方がふらっと立ち寄れる「ふらっとスクエア」を開催。
- コーヒー片手にゆったりできるスペースや、物品販売コーナーを設置。何気なく前を通っていた場所が、新しい憩いの場所になれるよう、今後も開催する予定です。

Kumamoto

熊本県庁地下販売会



- 企画から販売までメンバーさん達で行いました。商品製作からPOP作り、商品を陳列する方法や接客体験など、それぞれの得意を活かしたり、地域の人たちと交流しながら新たな発見も出来た様子です。

GOCHAMAZE times

私たちは今まで福祉や障害の分野と接点のなかった方達に向け、“まず、知ってもらおう”ことを目的に、広報タブロイド紙とウェブマガジン「GOCHAMAZE times」を展開しています。

私たちのビジョンやごちゃまぜの世界観を通じて、“知ってもらおう機会”を社会に向けて提供し続けていきたいと考えています。

情報発信のひとつとして、様々な立場で活躍されている方にインタビューも行っています。

「障害」や「福祉」「まちづくり」との関わり方や取り組みを紹介することで、ソーシャルインクルージョンや多様性のありかたを模索しています。



VOL.14 2020 夏号
[特集] コロナとごちゃまぜ
～災いが揺るがせた、人のあり方～

2020 年実績

発行部数
5,000部
(5,000部/回)

発行頻度 | 6ヶ月ごと
発行月 | 1月・7月
インタビュー数 | 4件

2015-2020
累計発行部数
65,000部

スクエアで配布はもちろん、地域の市役所・図書館・美術館をはじめ、美容院やカフェなどにも配布して設置させていただいています！



編集部の声

西宮店 大森 亮平

新型コロナウイルスの蔓延で「密」を避けなければならない中で、どのように「ごちゃまぜ」を語るかが焦点となった1年でした。100年後にも残せる資料として、今ここを編集しています。



INTERVIEW



高橋 尚子さん

車椅子YouTuber

自由は失ったけれど、世界は広がった

不慮の事故により車いす生活を送る高橋さん。WEBデザイナーとして働く傍ら、YouTubeでは約4万人の視聴者に向け「車いす女子の暮らし」を発信。これから望む社会の在り方を聞いてみました。



柴田 賢さん

ネットテラス夙川 店長

社会貢献の種をまこう！いつか花開くその時に

兵庫県東部に展開する自動車ディーラー「ネットヨタ神戸株式会社」。その1店舗で店長を務める柴田賢さんは、企業と福祉の関わり合いにより、地域社会の困りごとを解決に導く実践者でした。



川崎 渉さん × 渡邊 陽一さん

いわきFC / 植田印刷所

MUSUBU×いわきFC×ごちゃまぜ トケル vol.3 地域に広がる・届く 情報発信術

いわきFCのプロモーションを率いる川崎渉さんとメディア制作に関わるプリンティングディレクターの渡邊陽一さんをゲストに地域での情報発信についてクロストーク。



清田 仁之さん・藤本 遼さん

ミーツ・ザ・福祉オーガナイザー

ポロがデザイン出来ているから 一緒に考えていける。創っていける。

「ミーツ・ザ・福祉」という福祉をテーマにしたイベントの仕掛け人である清田仁之さんと藤本遼さん。障害のある・なしに限らない、参加しやすいイベントデザインの秘訣とは？

INTERVIEW全文はウェブ版GOCHAMAZE times もしくは、こちらのQRコードからご覧頂けます。



1



SNSフォロー

NPO法人ソーシャルデザインワークスでは、FacebookやTwitter、InstagramなどさまざまなSNSでイベント情報やWEBマガジンの更新、プレスリリースなどを発信しています。ぜひ、私たちの活動をフォローしてくださいね。

2



ごちゃまぜ先生

私たちは地域の方々と一緒に「ごちゃまぜ」で活動することをモットーにしています！ごちゃまぜイベントでの先生やボランティア、障害福祉事業所で提供するカリキュラムの先生として関わっていただくことも、私たちのサポートにつながります。

5



会員になって応援

賛助会員・正会員・団体賛助会員・団体正会員の4つの会員種類があります。会員になっていただくことで、私たちの活動の支援になります。ノベルティグッズやタブロイド紙のお送りなどそれぞれの会員に応じた特典をご用意しています。

6



寄付で応援

わたしたちは「すべての仲間の幸せを追求するとともに諦めない社会を創る」を理念として掲げています。寄付いただきましたお金は、理念の実現のため、障害福祉事業運営やごちゃまぜイベントの運営資金など、私たちの活動に充てられます。あたたかなご支援をお願いできればと思います。

3



モノで応援

家具や本・衣服など、自分では使わないけど、捨てるのはもったいないな...というモノの寄付をお待ちしております！寄付していただいたものは、障害福祉の支援の現場やごちゃまぜイベントの場でも活用させていただきます。

4



着て応援

札幌発のスポーツウェアブランド「リアルヒーロー」を展開する一般社団法人ソーシャルスポーツマネジメントとコラボレーションし、オリジナルのスポーツウェアを制作・販売しています。購入して着ていただくことで、売り上げの一部が障害者スポーツ支援、また私たちの活動のために役立てられます。

SUPPORT

NPO法人ソーシャルデザインワークスは、「すべての仲間の幸せを追求するとともに諦めない社会を創る」を理念として掲げています。ここで指す仲間とは、障害のある当事者、地域の方々、生きにくさを抱える方などあらゆる人達のことを指しています。その人達、それぞれが感じる幸せをみなさんと一緒に探し、人生がより豊かになるための選択肢を創っていきたくて考えています。みなさんのご協力をお願い致します。

会員募集

個人賛助会員

入会金 **0** 円

年会費

一口: **3,000** 円



特典

1. 会員認定キット

お礼のメッセージ、法人オリジナルノベルティー
ごちゃまぜメディカルハーブティー

2. GOCHAMAZE times (ごちゃまぜタイムズ) の定期購読

年2回(1月・7月)発行のタブロイド紙をお届けします

3. アニュアルレポート

毎事業年度お届けします(3月発行)



詳しくはこちらから



会員にはならない、**ワンタイム寄付**も大歓迎！

いつでも自由な金額で、1回からご寄付できます。ご寄付の際はホームページのお問い合わせから連絡先等をご連絡ください。お礼のメッセージをお送りします。▶ <https://sdws.jp>

振込先

ゆうちょ銀行

口座記号番号：10130-68794801

支店名：〇一八店(ゼロイチハチ店)

口座番号：普通 6879480

名義：特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス
〔トクヒ〕ソーシャルデザインワークス

みずほ銀行

支店名：いわき支店

口座番号：普通 1322674

名義：特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス
〔トクヒ〕ソーシャルデザインワークス

実績一覧



拠点別 就職者実績

SOCIALSQUARE IWAKI

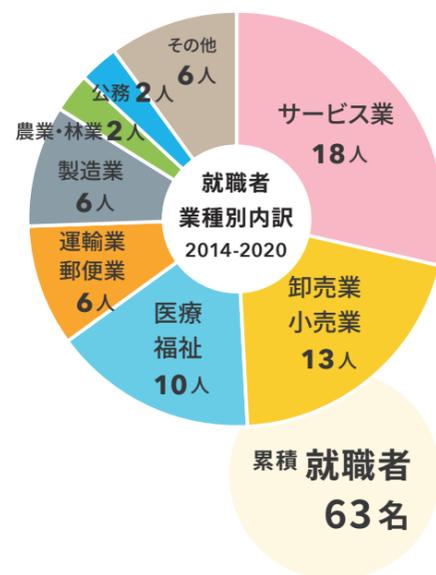


サービス業 4名/卸売業・小売業 1名/医療・福祉 1名/製造業 1名/不動産業 1名/公務 1名

SOCIALSQUARE NISHINOMIYA



サービス業 2名
卸売業・小売業 1名
建設業 1名



GOCHAMAZE times 発行実績

Vol.14

2020 夏号 | 発行日：2020年7月21日
[特集] コロナとごちゃまぜ～災いが揺るがせた、人のあり方～
[Interview] 車椅子YouTuber | 高橋 尚子さん

5,000部
発行

Webインタビュー・対談実績

- 2月 ミーツ・ザ・福祉オーガナイザー | 清田仁之さん・藤本遼さん
- 7月 車椅子YouTuber・WEBデザイナー・くまバリリーダー | 高橋尚子さん
- 12月 ネットテラス夙川 店長 | 柴田 賢さん

いわきをもっと“ごちゃまぜ”に、様々な価値観が溶けあうような地域を考えていきたい
地域団体 MUSUBU といわきFC がコラボし始めた「トケル」メディアパートナーシップ企画

- 2月 トケル vol.3 地域に広がる・届く 情報発信術
いわきFC 川崎渉さん × 植田印刷所 渡邊陽一さん



拠点別 ごちゃまぜイベント実施状況

SOCIALSQUARE IWAKI/SPORTS

5 イベント開催

- スクエアフェス vol.8 初めてのものづくり!!
～オシャレなミニチュアを手作りしよう～
- くるみボタンでエコバッグワークショップ
- いわき遠野面・つきうさぎ絵付けワークショップ
- 遠野和紙・紙すき体験とオリジナル年賀状作り
- ごちゃカフェ vol.1 \ あつまれ/あらたなの夏～ゆるっと楽しくゲームであそぼう!～



SOCIALSQUARE NISHINOMIYA 3 イベント開催

- 小さな街づくり vol.2
- ふらっとスクエア (7月/8月)



SOCIALSQUARE KUMAMOTO 1 イベント開催

- 熊本県庁地下販売会



メディア掲載

- 2月 医療法人医和生会ブログ掲載
- 5月～7月 いわき民報「くらし随筆」コラム連載
- 12月 フリーペーパーまちメディア (2021年1月号) 掲載

講演実績

- 10月28日 東日本国際大学 | コミュニケーションII ※「ライフキネティック ワークショップ」 | 藤木泰寛
- 11月8日 東日本国際大学 | 障害者に対する支援と障害者自立支援制度II
※「専門職の役割と実際」 | 奥田峻史
- 11月19日 湯沢雄勝 障害者就業・生活支援センターばあとなあ
秋田就労支援フォーラムばあとなあ2020 | 今泉俊昭 / 奥田峻史 / 佐々木俊輔
- 12月18日 はまどおり大学 はまちる勉強会 12月
「生きづらさってなに?～ひきこもり支援や働くことへの支援を通して～」 | 今泉 / 鈴木 / 加賀谷 / 三戸 / 佐藤
※「」内は講義内容

助成金・委託事業

「みんなが主役」芸術文化体験交流事業 業務委託 (いわき市文化スポーツ室 文化振興課)

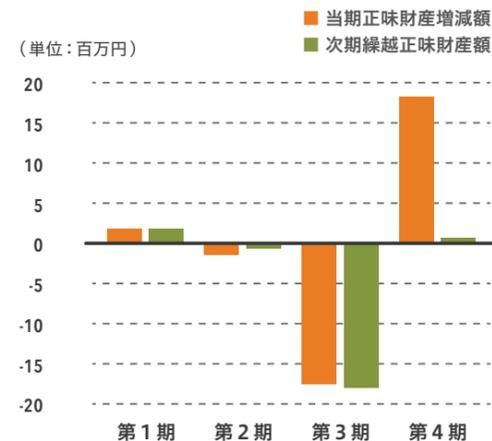
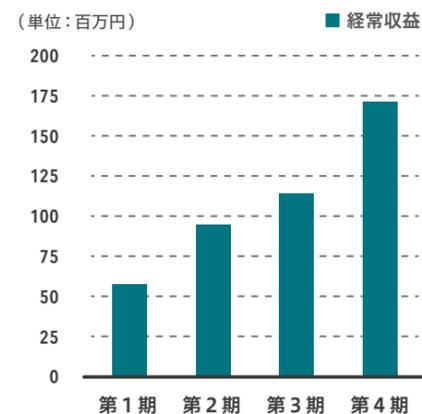
決算報告

貸借対照表 (2020年12月31日現在)

I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産	41,372,029	1. 流動負債	46,058,393
2. 固定資産	4,790,682	2. 固定負債	0
3. 繰延資産	0	負債合計	46,058,393
資産合計	46,162,711	III 正味財産の部	
		前期繰越正味財産	△ 17,860,472
		当期正味財産増減額	17,964,790
		正味財産合計	104,318
		負債及び正味財産合計 (II + III)	46,162,711

活動計算書 (2020年1月1日-12月31日)

I 経常収益		II 経常費用	
1. 受取会費	0	1. 事業費	
2. 受取寄付金	0	(1) 人件費	96,440,841
3. 受取助成金等		(2) その他経費	46,155,303
受取民間助成金	0	事業費計	142,596,144
受取国庫補助金	2,263,897	2. 管理費	
4. 事業収益		(1) 人件費	7,716,778
SOCIALSQUARE 事業収益	167,142,554	(2) その他経費	3,245,399
ごちゃまぜイベント事業収益	0	管理費計	10,962,177
ごちゃまぜタイムズ事業収益	0	経常費用計	153,558,321
5. その他収益	2,379,360	税引前当期正味財産増減額 (I - II)	18,227,490
経常収益計	171,785,811	法人税、住民税及び事業税	262,700
		前期繰越正味財産額	△ 17,860,472
		次期繰越正味財産額	104,318



法人概要

法人名	特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス
設立日	2017年1月11日
本部所在地	福島県いわき市内郷内町水之出17
目的	この法人は、広く一般市民に対して、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく事業、障害者の社会参加を啓発する事業等を行い、年齢・性別・国籍・障害の有無を意識しない社会を目指し、公益に寄与することを目的とする。
事業内容	この法人は、上記の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。 (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業および一般・特定相談支援事業 (2) 障害者の社会参加のための企画及び運営に関する事業 (3) 障害者の社会参加の啓発及び情報発信に関する事業
代表者	代表理事 CEO 北山剛
人員構成	理事3名、監事1名、クルー33名、チームパートナー4名 (2020年12月31日現在)
ホームページ	https://sdws.jp

SOCIALSQUARE いわき

〒973-8404
 福島県いわき市内郷内町水之出17
 ソーシャルスクエアビル1F
 TEL 080-3525-9426
 FAX 050-3156-1429

SOCIALSQUARE 西宮

〒662-0857
 兵庫県西宮市中前田町1-27
 ラビットビル1F/3F
 TEL 090-8377-4839
 FAX 050-3153-3843

SOCIALSQUARE 熊本
 相談支援センター SOCIALSQUARE

〒862-0956
 熊本県熊本市中央区水前寺公園3-4
 土山天祐堂ビル2F
 TEL 070-7587-9202 FAX 050-3153-0203
 TEL 070-7660-4722 [相談支援センター]

SOCIALSQUARE Sports

〒970-8034
 福島県いわき市平上荒川字桜町1-1 ALATANA
 TEL 070-3349-6785 FAX 050-3156-0420

事業所一覧

